

# 教育委員会だより

第14号

今年4月に行われた全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。

## 全国学力・学習状況調査とは？

今回の調査は、小学6年と中学3年を対象に、国語と算数・数学、理科の3教科で実施されました。なお、本調査は、子供たちの学力の一部を示すもので、全体の学力を表しているわけではありません。

## 曾於市の子供たちの調査結果は？

### 【学力調査】

◇市・県・国の平均正答率◇

#### 【小学6年】

	国語		算数		理科
	A問題	B問題	A問題	B問題	
曾於市	64.8	59.9	72.2	38.4	63.3
県	68.4	65.8	75.9	42.5	63.4
国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8

#### 【中学3年】

	国語		数学		理科
	A問題	B問題	A問題	B問題	
曾於市	68.0	58.1	55.9	31.5	45.9
県	73.3	64.1	61.7	39.4	51.9
国	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0

※A問題とは～主に基礎的・基本的な知識・技能を問う問題(習得型学力、基礎力)  
 ※B問題とは～主に知識・技能の活用を通して思考・表現を問う問題(活用型学力、応用力)

### ○分析・考察

小学校は、理科が全国平均を上回りましたが、国語・算数は、基礎知識を問うA問題、応用力をみる

B問題ともに全国平均を下回る結果となりました。中学校は、3教科いずれもA問題、B問題ともに、残念ながら全国平均に達することができませんでした。

### ◇学力低位層・高位層の割合比較◇

#### 〈国と市の学力低位層・高位層の割合比較〉

##### 【小学6年】

		国語A		算数A	
		40%未満	80%以上	40%未満	80%以上
市	26年度	13.4	41.3	7.2	49.2
	27年度	12.4	30.3	11.2	48.6
国	(27年度)	8.0	46.0	8.4	54.0

##### 【中学3年】

		国語A		数学A	
		40%未満	80%以上	40%未満	80%以上
市	26年度	9.4	46.6	22.1	30.5
	27年度	13.1	37.5	27.8	14.7
国	(27年度)	6.9	56.3	19.2	31.2

※学力低位層・・・正答率40%未満の児童生徒  
 ※学力高位層・・・正答率80%以上の児童生徒

曾於市は、国と比べて正答率40%未満の学力低位層の割合が多く、正答率80%以上の学力高位層の割合が少ない結果となっています。本市の場合、「学力の二極化対策」よりも全体的な「学力の底上げ」が必要といえます。

### 【学習状況調査(意識・実態調査)】

#### ◇良かった項目(国との比較)

##### 小学校

①「理科の勉強が好き」

▽曾於市：65.2%   ▽全国：55.0%

②「将来の夢や目標をもっている」

▽曾於市：77.9%   ▽全国：70.5%

##### 中学校

①「家で学校の宿題をしている」

▽曾於市：80.7%   ▽全国：65.8%

②「学校へ行くのは楽しい」

▽曾於市：56.9%   ▽全国：47.5%

#### ◇悪かった項目(国・県との比較)

##### 小学校

①「読書が好き」

▽曾於市：41.9%   ▽全国：48.9%

②「毎日、同じ時刻に起きている」

▽曾於市：55.1%   ▽全国：60.0%

##### 中学校

①「地域の行事に参加している」

▽曾於市：15.2%   ▽県：25.6%

②「人の役に立つ人間になりたい」

▽曾於市：65.5%   ▽全国：72.0%

### 「確かな学力」の定着のために

#### 学校・教育委員会の取組

学校の最大の使命は、学力向上です。そして、子供たちの学力を左右するのが、教師の指導力です。学校・教育委員会では、教師の指導力向上のために、研修の充実を図りながら、日々の「授業改善」に取り組んでいます。

#### 保護者・家庭の取組

学力と家庭学習については、高い相関関係があります。家庭学習の習慣が身に付いている子供は、一般的に高い学力を発揮しています。また、「早起き・朝ごはん」の生活習慣ができている家庭の子供ほど学力が高い傾向がみられます。

曾於市の子供たちの学力状況は、現在厳しい状況にあります。今こそ行政、学校、地域、家庭が共に連携して、子供たちの学力向上のために取り組んでいかなければなりません。